

- (2) 人づくり、市民の参加・協働のまちづくり
- ア 文化振興について
- (ア) 地域資源を生かしたまちづくりを目指して
- (イ) 総務省の「頑張る地方応援プログラム」参加を目指せ
- (3) 行財政改革について
- ア 予算のあり方と、組織・機構の見直しについて
- (ア) 総体の人事を考え、組織・機構を見直しては
- (イ) 行政経営品質の向上が住民満足度に直結するために
- (4) 中心市街地活性化基本計画について
- ア 従来の開発計画との整合は取れているのかの議論をすべき

2 教育方針より

- (1) 学校教育への考え方は
- (2) 子どもたちに「夢」を与える施策は何か

3 津市社会福祉協議会の事業について

- (1) 2007年問題をどう考えるか
- (2) 体制の中に甘んじないで、新機軸の事業拡大を

▶合併特例債の弾力的運用で活力創造を（耐震性防火水槽設置工事）



4 津市の農業振興について

- (1) 地域別農業への対応策を

5 地域防災計画から

- (1) 孤立地帯解消に向けて
- (2) 自主防災組織設立と運用の問題点は
- (3) 消防との連携の円滑化・考え方に相違はないか

よこ やま あつ こ
横山 敦子

こう せい どう
公明党

横山 敦子 平岡 益生
加藤美江子 坪井 年明
竹沢 陽一

●議案質疑●

議案第52号 平成19年度津市一般会計予算に関連して

- 1 枠配分方式の拡充を
- 2 財政調整基金の減少にどう対応するか
- 3 市債発行と公債費の在り方をどう考えるか
- 4 合併特例債の活用をどう考えるか
- 5 自主財源をどう確保していくか
- 6 連結決算やバランスシート等各計算書の作成を

問 自治体経営化の観点より連結決算やバランスシート等の作成を

答 財政状況の把握や開示による透明性の確保、コスト意識の向上等を図るため、新たな公会計制度

で示された4つの財政資料の作成に向け、調査研究を進めたい。

議案第52号 平成19年度津市一般会計予算

1 歳出 民生費 障害者福祉費

- (1) 障害者自立支援法関係事業について

2 歳出 民生費 児童福祉総務費

- (1) 児童手当給付事業について
- ア 乳児加算の対象者数は
- イ 対象者への周知徹底と手続き方法は

3 歳出 総務費 庁舎維持管理費

- (1) 本庁舎等バリアフリー調査事業について
- ア 既存の公共施設のバリアフリー化の優先順位付けは

4 歳出 衛生費 保健衛生総務費 救急医療事業

- (1) A E D設置事業について
- ア 設置優先順位は
- イ 設置場所、職員の研修体制は
- ウ 学校施設等今後の設置方針は

5 歳出 衛生費 斎場費

- (1) 新斎場整備構想策定業務委託

料について

- ア 早期実現に向けてのタイムスケジュールは

議案第54号 平成19年度津市国民健康保険事業特別会計予算に関連して

1 高額療養費現物給付制度について

- (1) 高額療養費対象者数は
- (2) 同制度の広報と周知はどのように図るのか

●一般質問●

1 津市行財政改革大綱（案）と集中改革プラン（案）について

- (1) 分権自治、住民自治について
- ア 行政経営システムの構築について
- イ 市民評価の導入等と行政評価システムの構築を
- ウ パブリックコメント制度の早期導入を
- エ 市場化テスト、P F I方式等の拡充を
- オ 市税収納率の向上を
- カ 市場公募債の早期発行を
- キ 行財政改革推進体制の強化を